



# Via Latina 22

2023年3月 319号

## 総本部よりのお知らせ－マリア会

インド従属地区での司祭叙階式	1
韓国地区での終生誓願式	2
Raymond Halter 神父の列福調査開始の請願書	3
2022年度にAGMAR書庫に分類された著作物	4
Raymond Halter 神父の列聖を求める祈り	5

### インド従属地区での司祭叙階式

2023年2月4日、マリア会Peter Kulandai Yesu士は、幼きイエス教会でバンガロール大司教区Bernard Moras名誉大司教によって司祭へ叙階されました。家族メンバー、マリア会修道者、友人たち、そして教区信徒など約1000名がこの厳粛で立派な叙階式に参列しました。



Peter Kulandai Yesu師  
共同司式司祭と親戚に囲まれて

名誉大司教は、新たに叙階されたPeterに対し、司祭職の意義と神の民へ奉仕する深い意味について念を押されました。叙階式は招待者全員へのお祝いの食事をもって終了しました。

Peter神父、司祭叙階おめでとう！

---

## 韓国地区での終生誓願式

2023年2月2日、マリア会Shung-hyuk Choi士は、韓国地区マリアニスト・センターにて地区長Dominic Park師が司式する主の奉献の祝日のミサの中で終生誓願を宣立しました。

Covid-19の緩和策のお陰で、彼の両親、家族、多くの友人、そしてマリアニスト家族170名以上の招待者が列席が可能になり、彼のために祈りそしてお祝いしました。特に彼がマリア会に入る前に一緒に仕事をしていた祈りのグループから多くの友人たちが列席し、彼の終生誓願式を盛り立てました。



Shung-hyuk Choi士 (中央)

左にDominic Park師 (地区長)、右にChris Wittmann師 (修練長)

参加できたマリア会会員に囲まれて

そしてまた修練長Chris Wittmann師もUSAから駆け付け、誓願式に出席し彼を激励しました。

韓国地区は、彼を生み育て、そして進んで神に捧げてくれた両親と、マリアニストの福音宣教に彼を召し出された神に感謝します。

---

## Raymond Halter 神父の列福調査開始の請願書

2月2日、マリア会列聖請願総代理Antonio Gascón師は、コートジボアール、アビジャン大司教のJean-Pierre Kutwa枢機卿にレイモン・アルテール(Raymond Halter)師の列福調査開始の請願書を提出しました。アルテール神父は1925年、フランス、ショーで生まれ1988年アビジャンで死去しました。これは対神徳と枢要徳の英雄性とこのマリアニスト司祭の聖性の承認に関する列福調査です。彼は1988年の死去の時まで、司祭としての強い熱意と信徒の深い尊敬を得て、アフリカの聖母マリア聖地で自分の任務を行ってきました。

列福調査の開始を要請するこの文書には、ローマとパリのマリアニスト資料室に収集されたアルテール神父に関する非常に幅広く収集された文書が添付されました。これらの文書には次のものが含まれています：彼の数多い書籍や雑誌記事の複写、そして信徒たちやカリスマ刷新運動のメンバーに行った彼の数多くの霊的講話の記録などです。アルテール神父はフランス、カナダ、そしてアフリカのフランス語圏においてカリスマ刷新運動で最も知られた国際的リーダーの一人になりました。



左よりNoël Dominique Kouau師、Antonio Gascón師、Kutwa枢機卿（重大な交通事故により障害を負った）、Jean-Marie Leclerc士とAdon師（枢機卿の秘書官）

この日の列福調査開始の要請は、「神殿におけるイエスの奉献の祝日」、奉献生活に捧げられた日に行われたので、大きな意義を持っていました。加えて、Kutwa枢機卿は大切な友人アルテール神父の列福調査開始の要請を受けて大変喜びました。そしてまた、この要請はアビジャン大司教区で開始される初めての列福調査でもありました。枢機卿との会談にはコートジボアールのマリア会員の代表として従属地区長、Noël Dominique Kouao Akobe師とフランス地区長、Jean-Marie Leclerc士がAntonio Gascón師に同伴し、この会談を司会しました。

これ以降、アビジャン大司教区は教区法廷を設置する教会法上の最初のステップをとることになりますが、この教会法廷は、証言者からの聞きとりをおこない、私たちの親愛なる兄弟レイモン神父の徳の高い福音に適った生涯であるか否かのすべての証拠を集める必要があります。

## 2022年度にAGMAR書庫に分類された著作物

2022年度に、ローマのマリア会総本部資料室（AGMAR）はマリアニスト修道者によって書かれ、あるいはマリア会とマリア会員に関連する主題について書かれた30冊の本を入手し、分類しました。

これらの本は2022年に発行されたか、その前に発行されたが、最近AGMARに届きました。それで、30冊のうち16冊は2022年に、16冊はその前に出版されたこととなります。

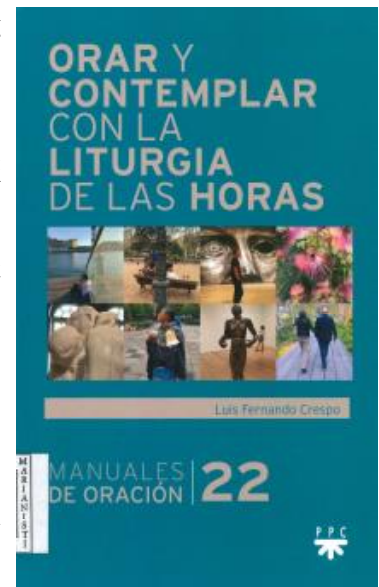
ここに3つのリストを提供します：最初のリストはAGMARに届けられた30冊；2番目は2022年に発行された16冊、3番目は2022年以前に発行された14冊です。これらのリストを読むためには、[ここ](#)をクリックしてください。

AGMARには、マリア会員もしくは信徒マリアニストによって書かれたマリアニスト的内容の本が分類されています。ですから、これらの本は広い意味でマリアニストの霊性についての著作です（マリア学、信仰の教義、祈り、...）；マリア会、あるいは行政単位の歴史、マリアニストの共同体と事業体の歴史に関するもの；修道者の伝記に関するもの；創立者の生涯とその霊的、宣教的な考え方についての研究に関するもの；創立者の文書（書簡、黙想指導、...）；公的文書に関するもの（回章、生活の規則、規則書、...）；祈祷書とマリアニスト典礼に関するもの；マリアニスト教育学の論文に関するもの；初期養成についての文書と研究（召命司牧、修練期、終生誓願への準備、...）；信徒マリアニスト共同体に係る材料（以前の準会員、フラテルニテ、在校生と卒業生による若者のコングレガシオン・・・）；マリア会の技術会員と司祭についての研究に関するもの。



AGMARはまた、マリアニスト的主題ではない項目についても、マリア会修道者によって書かれたものを収納しています：哲学、宗教学、霊性、歴史、芸術、詩、小説、科学的主題、教科書、博士論文と大学卒業論文、...。これらの本は主題やこのような研究毎に分類されていますが、これらの著作は資料室的な意味合いでは本とは考えられませんが、資料室文書とみなされます；すなわち、このような著作をした修道者に著作権のある文書です。

AGMAR書庫はまた、総本部によって作成された雑誌と会報など（総本部通信、歴代総長の回章、Via Latina 22、）、また管区、地区、従属地区、などによって作成された会報、報告書も載せられています。なぜなら行政単位の本部はその修道者とのコミュニケーションの公的会報（情報、通信、ニュース、）を総書記に送付するよう総長評議員会によって義務付けられているからです。修道会の宣教事業体は報告書を送付する義務は有りませんが、マリア会の統治と家族的精神に従い、多くの学校と宣教事業体（同窓会を含む）は学校の冊子と年報を送り続けています。



AGMARには写真部門ともう一つの音声部門があります。それらは行政単位、宣教事業体、あるいは修道者が司牧や学校の活動、種々の式典、記念祭、特集記事について報告するために総本部に送付する写真アルバムのようなものを含みます。また、レコード盤、カセットテープ、そしてCDを録音制作する修道者の音楽家がいる、それらの創作品をマリア会総本部資料室に送付します（将来これらの視聴覚教材がどのようにコピーできるか課題がありますが）。

要約すると、マリア会修道者は自分の出版物を、それらが本、論文、レコード、楽譜など何であれ、AGMARに送付する義務と責任があります。なぜならこれらは、修道者個人の関係書類の一部を成すその修道者に関する文書だからです。

最後に、AGMARは、総書記事務局と共にマリア会の統治に奉仕する総本部の資料室ではありますが、マリアニスト書籍の刊行とそれらのAGMARへの収納は、マリアニストの思想を活性化する助けとなるものです。このマリアニストの思想なしには、私たちの生き生きとした霊生を保つことも、私たちの宣教を実現することも出来ません。これは単なる図書目録的な知識の問題ではなく、意識的な生活に係わる問題、つまり、その思想は考察され、内省され、内面化され、活動と宣教において表現される意識的な生活の問題なのです。

## レイモン・アルテール神父の列聖を求める祈り



マリアニスト修道者、レイモン・アルテール(Raymond Halter)神父の証しの故に、

私たちの父である神よ、あなたは祝福されますように。

アルテール神父の信仰の生活、祈りの生活、とりなしの生活、そして謙遜の生活は、おとめマリアの助けによって、人々の魂と身体の苦しみを和らげるためにすべて捧げ尽くされました。

私たちは今日、レイモン・アルテール神父とともに祈ります、彼をあなたの思いやりの使命と結びつけることによって、あなたのみ名が貧しい人、乾いている人、飢えている人の間で讃えられますように。

マリアの御子イエスの学び舎で、アルテール神父は、“聖霊よ、私はあなたを愛します”と祈ることを私たちに教えてくれました。

彼の取り成しを通して私たちがお願いするお恵みをかなえてください。それによって、彼の聖性の目に見えるしるしが私たちに与えられます。(皆さんの意向を述べてください) 私たちの主イエス・キリストによって、アーメン。

2014年12月31日のアビジャンの大司教区、Jean-Pierre Kutwa枢機卿の教会承認



### 第36回総会（2024年7月）の準備 第36回総会（2024年）の準備を一緒に行いましょう： 高校生と青年の司牧活動

あなた方の共同体 / 行政単位は、私たちの創立者、福者シャミナードの日（1月22日）に始められた意見聴取への参加にどの様に対応していますか？

これについて考えてください！高校生や青年と係っているマリアニスト家族のメンバー、あるいは協働者を参加させるよう考えてください。さらに、あなた方がコンタクト出来る若者たちのことを考えてください。すべての人の考えを豊かにするため皆さんが行うあらゆる事をありがたく思っています。

この準備段階の成果を聖母マリアと福者ギョーム・ヨセフ・シャミナード師に委ねましょう。

Websiteに[リンク](#) : General Chapter 2024

## 最近の総本部通信

- 計報：5-8号
- 2月7日： 未成年者と弱者の保護のための各行政単位代表者の決定、  
総長評議員会から行政単位責任者へ3ヶ国語で送付
- 2月14日： 公式でないマリアニスト教育に関する統計、  
教育局長Maximin Magnan 士から行政単位の教育補佐へ送付
- 2月22日： マリアニスト家族保護の祝日のためのメッセージ、  
マリアニスト家族世界評議員会から全マリア会員へ3ヶ国語で送付

## 総本部日程

- 3月1日-3月26日：総長評議員会のUSA管区への教会法上の視察訪問